

財政審査会議 事業計画

財政審査会議 議長 鈴木 憲之

歴史の中で培われた質の高い組織運営の知識と公益法人格取得で公に対する組織の基本ルールを確実に取得したからこそ、今後も地域の手本となる組織として、今まで以上にその知識とルールを確実に実行する必要があります。そこで財政審査会議では、公に立脚する水戸青年会議所の基準となる会議体として、年間を通して透明性のある財政運営と公に対する基本ルール順守の監視役となり、組織全体に方向性を示し続ける事を目的とします。

まずは、財政運営の公益性と透明性を明確にするために、予算書と決算書の作成をすることで、適正で公益比率の取れた財政の振り分けを確認します。そして、今後の財政基盤の安定化を実現するために、公益認定法に沿った積立の仕組み作りを調査することで、中長期計画の財源確保をします。また、公益社団法人として安定した組織運営をするために、公益についてのルールを文書化することで、公益性のある事業の作成を援助します。さらに、公益と財政両審査会議合併のために、公益と財政審査会議を同時開催後の公益の勉強会の実施や県の勉強会を開催することで、全メンバーの公益に関する知識を向上させます。そして、全メンバーの意思統一を図るために、未来の法人格について検証することで、公益についての問題や不安を払拭します。また、水戸青年会議所運動の発信力を強化するために、運動を通し魅力的で誇りに思える組織に所属していることを再認識することで、志を共に出来る会員の拡大に繋がります。さらに、組織が成長するために、積極的に出向者運動に参画し後押しすることで、メンバー一人ひとりが成長出来る出向者支援をします。

適正な財政振分けと適切な財源の収支を確認し、新たな積立の創設や公益対策の確立で安定した財政運営が強化され、勉強会でメンバーの公益に関する知識の向上が財政と公益の知識の融合に繋げ、両審査会議の合併が、力強く水戸を牽引する組織運営を実現します。

<事業計画>

1. 適正な予算書及び決算書の作成
2. 中長期計画の財政確保に向けた積立の調査
3. 公益認定法遵守に向けた仕組み作り
4. 公益審査会議との合併
5. 今後の法人格について検証
6. 組織を強くする会員拡大
7. 相乗効果のある出向者支援